

ヒメクロウミツバメ

ミズナギドリ目ウミツバメ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

Oceanodroma monorhis (Swinhoe)

選定理由

県内でただ1箇所、輪島市の七ツ島大島で繁殖していたが、1979年7月以来確実な記録はなく、目撃例も1982年5月を最後に途絶えている。以後1983年、1991年、1998年、2008年の上陸調査でも生息は確認できず、絶滅が心配されている。

形態

全長約17～20cm。翼開長35～40cm。全身くすんだ黒褐色。

国内分布

日本近海の離島で繁殖。冬は南シナ海からインド洋に渡り越冬する。主な繁殖地は青森県尻屋岬、岩手県陸中海岸、京都府沓島、島根県隠岐、福岡県沖ノ島、伊豆諸島八丈小島など。

県内分布

石川県では夏鳥。輪島市沖の七ツ島大島で繁殖し周辺海域に生息していた。

生態

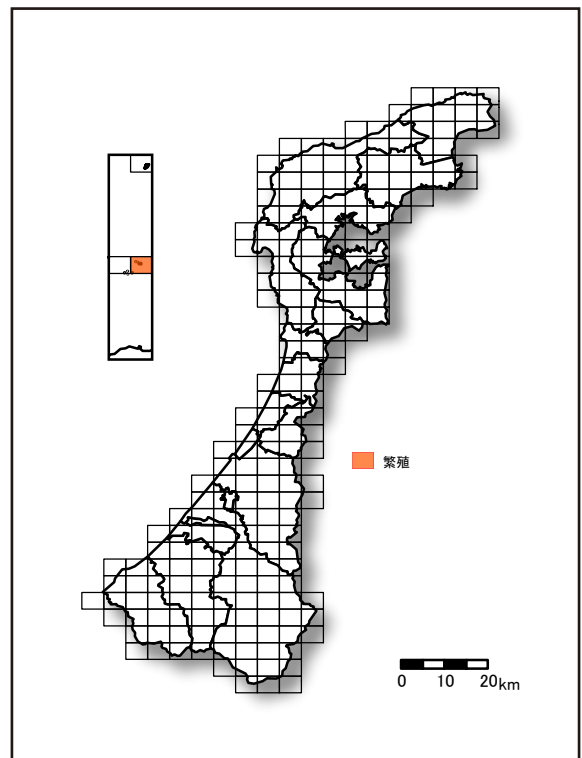
沖合にすむ海鳥。繁殖期は5～9月、地面に巣穴を掘り1卵を生む。集団繁殖し、数十から数千羽のコロニーが知られている。雌雄交代で抱卵し、つがい的一方は日中、海上で過ごし夜間巣にもどる。

生息地の条件

捕食者となるヘビ、ネズミなどのいない離島。

生存の危機

繁殖地へのネズミなどの侵入が考えられるが、詳細はよくわかっていない。(C)



県内の分布